

平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

経営理念 3 魅力ある資源を上手につなぎ、市民満足度を高めるはつかいち
 経営目標 2 ムダ・ムリ・ムラをなくし、みんなが元気な市役所に ～行政経営の推進～
 重点的取組 2 効率的、効果的な行政組織をつくる

担当課名	分権政策部 経営政策課		
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
	目	06	企画費

事業名	行政経営推進事業	事業開始年度	平成 18 年度
	行政経営品質向上活動及び行政評価（事業仕分け）の実施	根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市行政経営改革指針

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市役所の各部署	限られた経営資源を効率的に活用し、市民の視点に立った質の高い行政サービスを提供できるよう、市役所内部の仕組みやプロセスを見直し、社会環境の変化に対応でき市民満足度の高い行政運営ができる組織風土をつくる。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	プロセスデザイナー、市長、副市長、部局長、課室長、改革推進プロジェクトチーム、他自治体職員	・職員一人ひとりが、常に市民の立場に立って思考し、市役所の仕組みや行政サービスを見直しに向けて主体的に取り組む。 ・地域経営と連携した行政経営を目指す。

3 平成25年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容	(1) 行政経営品質向上活動関係（行政経営システム機能強化） ○ 組織目標達成に向けた組織マネジメント力が向上するよう、外部サポートを活用し、管理職・監督職を対象にした研修会を開催。
	(2) 行政評価（事業仕分け）の推進関係 ○ P D C A サイクルの確実な実践に向けて、職員（評価者及び担当課）の考える力をさらに高める。 ・ 改革推進プロジェクトチーム（職員 10 名）を評価者として行政評価を実施する。 ・ 10 数事業を対象に 2 班体制で 2 日間実施し、評価結果を踏まえて担当課が検討し、予算にも反映していく。 ・ 行政評価は、事業シート（予算、決算、行政評価）による各課の P D C A 実践と連動して進める。 ・ 各班のコーディネーターや研修講師は、経験があり本市の取組みに理解のある他自治体職員に依頼する。 ・ 事前研修会や改革推進プロジェクトチームによる他市視察を実施し、内部評価力を高める。
活動内容	(3) 職員研修関係等 ○ 組織風土改革と職員の解決思考力の向上に向けた職員研修を実施する。 （S F：ソリューションフォーカス（解決思考）研修等）
	【歳出】 行政経営品質向上活動関係（3,550千円） 行政経営システム機能強化支援委託料 2,000 千円 2 S 活動コンサルタント業務委託料 1,050 千円 業務改善調査委託料 500 千円 行政評価関係分（研修含む）（346千円） 行政評価コーディネーター報償費 2人 119 千円 行政評価コーディネーター旅費 2人 227 千円 職員研修関係等（362千円） 職員研修委託料（1.5日分） 300 千円 自治体マネジメント実践会議旅費 47 千円 消耗品費・役務費 15 千円

コスト情報（円）	項目	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	平成 25 年度予算
	財源内訳	直接事業費 A	5,441,270	3,796,000
国庫支出金				
県支出金				
借入金（市債）				
その他(使用料など)				
	市（市税など）	5,441,270	3,796,000	4,258,000
	人件費(按分) B	0.80 人 7,079,200	0.80 人 7,085,600	0.80 人 7,001,600
	総事業費(A+B)	12,520,470	10,881,600	11,259,600
ト換算	① 人口(4月1日現在)	118,353 人	118,353 人	118,000 人
	② 市民1人当たり	106	92	95

到達目標	活動及び成果指標	単位	H 23 実績値	H 24 目標値	H 25 目標値	H 27 目標値	備考
	活動 成果	各組織での改善活動（1係ワントライ運動）	件	140	100	100	
行政評価を活用した事業見直しの推進		件	16	15	15		
組織の経営理念や方針がわかりやすいと思っている職員		%	45	50	55	60	